

きのこグループ活動報告

小山 明人*

1 はじめに

きのこグループの目的は、諏訪地方のキノコ相の解明と併せて食毒だけではなく科学的なキノコの理解と普及を目的としている。

諏訪地方のキノコ相調査は明治末期の川村清一博士を始めとして、その後、大谷吉雄博士、吹春俊光博士の調査により 13 科 16 属 30 種となっている。さらに、日本菌学会会報「Mycoscience,1-14,2015」において種山裕一氏等により諏訪市上諏訪唐沢山のニガイグチモドキを記録したことから 13 科 17 属 31 種となった。

2 平成 27 年度の活動

グループは発足して 3 年となり会員 18 名で活動を行った。

昨年度同様午前は野外での観察、午後は博物館で顕微鏡的観察や一部 DNA を採集した。

野外観察は吉田山を 4 回実施し季節ごとの変化を理解した。9 月はキノコの発生が最盛期を迎えることから亜高山帯において 1 日観察、翌日博物館で同定作業を行った。

本年度から記録すべき種について標本作成を行い、前年度分を含めて合計 92 点を作成した。なお、博物館の燻蒸が 2 年に 1 回であることから収蔵時期は改めて検討を行う。また、本号において、茅野市八ヶ岳総合博物館菌類資料としてシャグマアミガサタケを記録したことから、諏訪地方のキノコは 14 科 18 属 32 種となった。

3 活動の詳細

第 1 回 4 月 25,26 日 茨城県つくば市 国立科学博物館筑波実験植物園

諏訪地方のキノコ相においてカラマツ林の調査の意義など保坂博士からご講義いただいた。また、DNA 解析などの協力体制や施設見学を行った。

第 2 回 5 月 24 日 茅野市 尖石青少年の森

アミガサタケやナヨタケ属、アセタケ属などを観察。午後は博物館において顕微鏡観察を行った。いくつかを標本作成に回した。

第 3 回 6 月 20 日 茅野市 吉田山

カラマツ林の純林に近い区域を設定し第 1 回の調査を行った。菌根菌ではハナイグチが見られた。調査区域外ではヒロヒダタケやウラグロニガイグチを観察した。

第 4 回 7 月 18 日 茅野市 吉田山

第 2 回調査を行った。調査地での菌根菌は観察できなかった。腐生菌のトキイロヒラタケを観察した。

第 5 回 8 月 23 日 諏訪郡原村 八ヶ岳自然文化園

市民参加の公開観察会。一般参加者は 4 人、観察したキノコは 30 種程度だった。午後の博物館ではいくつかの種について DNA を採集した。

第 6 回 9 月 19 日 茅野市 桜平

連休中で駐車場が込むことから 8:00-13:00 の観察とした。キノコの本盛期でありニオイカワキタケやオオツガタケなど亜高山帯のキノコを中心に 50 種程度が観察できた。

第 7 回 9 月 20 日 茅野市八ヶ岳総合博物館

都合により午後のみ開催。前日の採集品を検討しヤギタケやアカツムタケなど 10 種を標本作成に回した。

第 8 回 10 月 3 日 茅野市 吉田山

第 3 回調査を行った。ツノシメジやカオリツムタケ類似種、ジャガイモタケを含む多くのキノコを採集し翌日の展示対象とした。また、午後は収蔵すべきものを標本作成に回した。

第 9 回 10 月 4 日 茅野市八ヶ岳総合博物館

* 菌類懇話会事務局長

恒例のキノコ展示と市民による持ち込みキノコの同定会。74種の展示と持込7件、見学者は22人だった。展示では諏訪地方で初めて見るカバイロオオホウライタケ、博物館庭内で発生したコムラサキシメジを確認した。持込ではオオイチョウタケに似るが多少淡褐色を帯びるものが興味深かった。

第10回 11月7日 茅野市 吉田山

吉田山山頂から調査地まで、12種程度観察。午後は来年度の予定、同定作業、データカードの記入や入力を行った。

第11回 12月19日 茅野市八ヶ岳総合博物館

春からのまとめとして各人が1人5-10分の時間の中で発表。定例の活動もさることながら個人の興味分野の話がユニークで面白かった。特に植物との共生関係が多くなってきた。活発な質問もあり9時から始めて午後までかかった。

第12回 1月16日 茅野市八ヶ岳総合博物館

午前は紀要原稿の作成としてシャグマアミガサタケの線画を作成した。午後は活動発表展の打ち合わせと役割分担を決めた。

第13回 2月20日 茅野市八ヶ岳総合博物館

午前はシャグマアミガサタケの記録をもとに同定の過程を学習した。午後は活動展に向けての打ち合わせと印刷物の作成、6月に試薬の作成を行うこととした。

第14回 3月5日 茅野市八ヶ岳総合博物館

昨年度の気になるキノコ、新年度の記録目標。

第15回 3月21日 茅野市八ヶ岳総合博物館

活動展発表展 3年間の成果発表を行った。

4 来年度の活動

市民研究員養成講座第2期3年の初年度にあたることから以下を計画した。

- ① 吉田山のカラマツ林調査区域のキノコ調査を継続する。
- ② 調査区域以外でも適当な標本が得られる場合は採集、記録する。
- ③ 調査は野外での生態等の写真撮影、採集、マクロ・ミクロの記録、標本作成、場合によりDNA採取を行う。
- ④ 記録様式は神奈川県立生命の星・地球博物館の入生田菌類資料に準拠する。
- ⑤ 展示に適当な標本は大阪市立自然史博物館に引き続き協力を仰ぎ真空凍結乾燥標本とする。
- ⑥ 標本は原則茅野市八ヶ岳総合博物館に収蔵する。
- ⑦ キノコ展は諏訪地方のキノコ食中毒予防巡回展期間に先立ち実施する。
- ⑧ 講演会を行う。
- ⑨ 市民研究員認定者を中心に諏訪地方の菌類活動に協力する。

謝辞 第1回定例会において国立科学博物館筑波実験植物園の保坂健太郎博士にはご講義ならびに施設見学等お世話になりました。ありがとうございました。



きのこグループ

荒野 民雄	市川 浩久	井村 悦子	上原 裕雄
上原 妙子	牛山 雄二	岡本 巖	岡本 美佐子
金子 修平	川崎 建次郎	齊藤 雅光	齊藤 智子
遠山 俊祐	富澤 愛子	中島 年雄	藤崎 弘子
藤森 政明	水沼 昇	※小山 明人	